

2020年10月19日  
公益財団法人渋谷育英会

## リトアニア・カウナス 第3回日本語作文スピーチコンテスト特別協賛について

2020年10月16日、公益財団法人小丸交通財団、広島大学リトアニアセンター及びヴィータウタス・マグヌス大学アジア研究センターの共催による「第3回カウナス日本語作文スピーチコンテスト」に特別協賛しました。このたびのコンテストは、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況のなか、継続的な開催をしたいという思いから日本とリトアニアをつないでの初めてのリモート開催となりました。

コンテストの冒頭には、公益財団法人小丸交通財団の小丸成洋理事長、広島大学の越智光夫学長、ヴィータウタス・マグヌス大学アジア研究センターのリナス・ディドバリスセンター長から開会のご挨拶を賜りました。続いて、来賓として駐日リトアニア共和国大使館のゲディミナス・バルブオリス特命全権大使、在リトアニア日本国大使館の山崎史郎特命全権大使からご挨拶を賜りました。

コンテストでは、上級、中級、初級の部で計7人のスピーチが披露され、最優秀賞には「新型コロナウイルスの影響で海外旅行が難しいなか、リトアニアの国内旅行をすることで、自然が美しい国であることを再発見し、この自然を守っていかなければならない。」とスピーチしたヴィリニウス大学のリュチャ・スタンケヴィチューテーさんが選ばれました。また、各級の上位2人に賞状と副賞が授与されました。最後に、広島大学の佐藤利行理事副学長から閉会のご挨拶を賜りました。



(第3回カウナス日本語作文スピーチコンテスト記念撮影)